

質問なるほドリ

センター試験問題、誰が作る？ 大学教員ら420人 難易度調整に2年＝回答・伊澤拓也

毎日新聞 2018年1月26日 東京朝刊



大学入試センター試験の開始を待つ受験生たち＝東京都文京区の東京大学で2018年1月13日、渡部直樹撮影

なるほドリ 大学入試センター試験にムーミンの問題が出て話題になったね。問題は誰が考えているのかな？

記者 独立行政法人（どくりつぎょうせいほうじん）「大学入試センター」が任命した大学の教員や学識経験者（がくしきけいけんしゃ）で構成する「教科科目第1委員会」が作っています。委員は約420人で、任期は2年。科目ごとに22の部会に分かれ、約2年を費（つ）いやします。外部に漏（も）れないように非公開の会議を重ね、平均点が60点前後になるように難易度（なんいど）を調整します。

Q 問題をチェックする人はいるの？

A 第1委員会の経験者約150人でつくる「教科科目第2委員会」が確認し、問題文や選択肢（せんたくし）に誤りがあれば指摘して修正します。第2委員会は19の部会があり、こ

こを通ると正式な問題となります。試験後は高校関係者ら約135人で構成する「試験問題評価委員会」が適切な問題だったかどうか事後評価します。

Q 出題範囲は決まっているんだよね。

A 文部科学省が定める高校の学習指導要領（がくしゅうしどうようりょう）の範囲から出題されます。学習指導要領は各学校が教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準で、約10年に1度改定されます。検定を通った教科書は学習指導要領に従っているので、問題は結果的に教科書に沿った内容となります。ムーミンは教科書に載っていませんが、センターは地理の教科書に記載のある言語区分（げんごくぶん）の知識と思考力があれば解けると説明しています。

Q 入試改革で問題も変わるんだって？

A 2019年度を最後にセンター試験が廃止され、20年度からは大学入学共通テストになります。知識だけでなく、グローバル社会を生き抜くために必要な思考力、判断力、表現力を測（はか）ることを目的に掲げていて、教科書の内容を暗記するだけで解ける問題は減る見込みです。ムーミンのような問題も増えるかもしれませんね。（社会部）

掲載テーマを募集しています 〒100-8051 毎日新聞「なるほドリ」係

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。
Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.